

第1回子育て支援センター全国セミナー2007 in 熊本 開催報告（速報版）

テーマ「10年目の検証 そして明日への展望」

～地域子育て支援拠点の創造を目指して～

開催日 平成19年11月28日（水）～30日（金）

会場 熊本全日空ホテルニュースカイ

主催 熊本県地域子育て支援センター事業連絡協議会（熊本子育てネット）

共催 熊本県

後援 厚生労働省 熊本市 （社福）熊本県社会福祉協議会

熊本県保育協議会 （社団）熊本県保育協会 （社団）熊本市保育園連盟

（開催のお礼）

上記日程において、熊本全日空ホテルニュースカイにおきまして、『第1回 子育て支援センター全国セミナー2007 in 熊本』（主催 熊本子育てネット 共催 熊本県）を開催いたしましたところ、全国から550名余りの方々に参集いただき、実りある充実した研修を開催することが出来ました。これもひとえに会員のみなさま方の心からのご協力の賜物と感謝申し上げます。ご多忙な中、セミナー開催の煩雑な準備から、参加依頼、当日運営等まで、会員のみなさまにはあらためてお礼申し上げます。

この3日間の全国セミナーの期間に、全国の子育て支援センターが連携し、ともに子育て支援を進めていくという確認がなされました。このことは、今回の全国セミナー開催の大きな意義であったかと存じます。

当協議会といたしましては、会員の皆様のためにさらなる充実した研修が出来るよう努力していく所存でございます。今後ともよろしくご協力お願い申し上げます。

熊本県地域子育て支援センター事業連絡協議会

会長 榊田正治

プログラムの報告

第1日 11月28日（水）

12:00 受付開始



全国からの参加者の受付が始まりました

12:55 わらべ歌「あんたがたどこさ」



澄み切ったわらべ歌の声でお出迎え

13:00 開会



熊本子育てネット会長
神田正治の挨拶
「ようおいでました。ちょうじょう あた。」



熊本県知事
潮谷義子氏の歓迎のご挨拶



来賓各位

14:00 行政説明



厚生労働省保育課長
義本博司氏
「今後の保育行政と子育て支援について」

15:00 基調講演



子育てセンター実践研究会代表
新沢誠治氏
「子育て支援 10年目の検証そして明日への展望」

(基調講演参加者アンケートの集計結果より)

たいへん良かった 48人 良かった 43人 普通 6人 あまり良くなかった 0人
良くなかった 0人

(基調講演参加者からの感想)

- ・とても参考になった。先生のあったかい思いを胸にホッとした気分の中で過ごせました。自分のセンターを振り返るよい研修となりました。お体を大切にこれからも先生の声を伝えていってほしい。
- ・新澤先生が体調の悪い中熱く語って下さり感銘を受けました。パワーをいただきました。子育て支援にロマンをもって！！とのエールを肝に銘じてがんばりたいと思いました。
- ・来年の自分の支援センターについて悩んでいましたが、どの話もとっても理念・あるべき方向を導いてくれました。感謝の気持ちで聞き、自主研修したかいがありました。どの位ことばで周囲に発信できるか分かりませんが、コツコツ気張らずに頑張ります。

16 : 40 ポスターセッション (最終日まで日間展示されました)



全国から20数箇所の支援センターより資料の展示をしていただきました。様々な資料を基に活発な意見交換がなされました。

(ポスターセッション参加者アンケートの集計結果より)

たいへん満足 13人 満足 43人 普通 25人 少し不満 3人 大いに不満 0人
参加しなかった 13人

18 : 00 交流会



郷土芸能「山鹿灯籠おどり」が登場。灯籠おどり保存会のメンバーにより幽玄な踊りに酔いながらの開幕です。



参加者の県ごとのテーブルで話の輪が広がりました。

熊本の代表的な郷土料理
「だご汁」「タイピーエン(大平燕)」
瞬く間に売りきれ、保育士パワーを実感！！

(交流会参加者アンケートの集計結果より)

たいへん満足 11人 満足 18人 普通 1人 少し不満 0人 大いに不満 0人
参加しなかった 60人

第2日 11月29日(木)

9:00 シンポジウム

「これからの地域子育て支援拠点のグランドデザインを描く」



コーディネーター
淑徳大学教授
柏女霊峰氏



シンポジスト
千葉県・和光保育園園長
鈴木眞廣氏



シンポジスト
武蔵大学教授
武田信子氏



シンポジスト
熊本県少子化対策課長
谷田貝泰之氏



(シンポジウム参加者アンケートの集計結果より)

たいへん良かった 56人 良かった 35人 普通 4人 あまり良くなかった 0人
良くなかった 0人

(シンポジウム参加者からの感想)

- ・4名の先生方、とても分かりやすいお話で、改めて子育て支援の大切さ、難しさを痛感しました。日本全体が地域、人と人のつながり、群れである国になればと思います。その為にも私自身も何ができるのか、どのような存在であるべきか考えていきます。
- ・具体的に説明して頂き、今自分が悩んでいる課題が解消できたことに嬉しく思っています。これからの方向性を見出すことができ、充実したシンポジウムでした。
- ・支援拠点となり発信していくことの大切さを学んだ。予算を消化するのではなく、もっとアイデア、工夫が必要でありその地方(域)の何が必要かをしっかりとつかまなくてはいけないと思った。予算はカットされ数ばかりを重視しすぎる行政にもっと知ってもらいたいと思う。
- ・ひきさんの美しさを知っている人になってほしい！一人一人の北斗七星を見失うな！などの支援者の心構えの根本を心に響く言葉で聞く事が出来て良かった。親子の側で一人一人に支援する中で、自分の果たすべき役割を再確認して明日からの支援に頑張りたいと思います。

13:00 分科会

第1分科会 「センター型子育て支援に求められる役割とは？」

先進事例に学ぶー

コーディネーター

淑徳大学教授

柏女霊峰氏



話題提供者

江東区子ども家庭支援センター長

新澤拓治氏



熊本・あゆみ保育園
田中昭子氏



石川・よしたけ保育園
長戸英明氏



第1分科会の全体風景

(第1分科会参加者アンケートの集計結果より)

たいへん良かった 17人 良かった 11人 普通 2人 あまり良くなかった 2人
良くなかった 0人

(参加者からの感想)

- ・今後のセンターとしてのあり方、方向性を示してもらった。いろいろな方法があることに驚いた。
- ・目と耳で学ばせて頂きました。プロジェクターで流れるセンターや保育園の環境や行事の様子に私どもの園の内容とほど遠さを感じました。今後職員共々と目標をしっかりと見つめ、子どもたちやその親と共に成長していける勉強会となりました。ありがとうございました。
- ・他県のすばらしい取り組みが聞けた事、行き詰ったやり方の次の対策など少し先が見えてきた。

第2分科会 「暮らしに根ざした子育て支援の方法を考える」

地域社会と子育て支援

コーディネーター
大阪市立大学教授
山縣文治氏





話題提供者

沖縄・子育て支援センターたんぽぽ広場園長
嘉陽千恵子氏
熊本・植木町地域子育て支援センター
村上千幸氏
宮崎・おやこの森
木本宗雄氏



第2分科会の全体風景

(参加者アンケートの集計結果より)

たいへん良かった 2人 良かった 10人 普通 1人 あまり良くなかった 0人
良くなかった 0人

(参加者からの感想)

- ・暮らしに密着した支援のあり方、ほんと出来る居場所(実家のような...)をどうしたら作っていいのかを学びました。私たち自身の意識の変革が大切なような気もする...又親と共に同じ目線で親に子育てが楽しいと思ってもらえる支援のあり方を考えていきたいと思った。
- ・地域をどう取り込んでいくか、その大切さを気づかされました。
- ・それぞれの活動の様子を知ることが出来、又それについてのアプローチの仕方や対処など知ることができた。
- ・他の支援センターの方の話しが聞けて、とてもよかったです。

第3分科会 「保育士の専門性を活かす子育て支援」

- 福祉と保育を中心にすえて -



武蔵大学教授
武田信子氏



福岡・地域ぐるみで子育てをすすめるひだまりの会
支援アドバイザー
高山静子氏



第3分科会の全体風景

(参加者アンケートの集計結果より)

たいへん良かった 13人 良かった 9人 普通 2人 あまり良くなかった 1人
良くなかった 0人

(参加者からの感想)

- ・ 保育の専門性とは何か？ずっと考えて来たことなのでとても参考になった。
- ・ 和やかな雰囲気の中でザックバランに日常感じていることが出せて良かった。
- ・ 支援センターを再度見直し、検討しなければならないと思った。
- ・ 専門職として経験を重ねてきている自分であるがコンピテンシーリストをチェックしていくと、どれだけ自分の無力さを知り、また気持ちをあらたに一步から頑張ろうという気持ちを持たせて頂きました。

第4分科会 「保育園の機能を活かす子育て支援」

地域に開かれた保育園とは？ -

コーディネーター

子育て支援センター実践研究会代表

新澤誠治氏



話題提供者

福岡・あけぼの保育園園長 北野久美氏

千葉・和光保育園地域子育て支援センター

「もう1つの家」センター長 鈴木千鶴子氏

鹿児島・安良保育園園長 井上裕美子氏





第4分科会の全体風景

(参加者アンケートの集計結果より)

たいへん良かった 8人 良かった 9人 普通 1人 あまり良くなかった 0人
良くなかった 0人

(参加者からの感想)

- ・保育園ならではの支援、機能を活かす子育て支援は、できる事がたくさんあるのだぁ～と改めて感じました。豊かな資源・特性をもう一度見直していかに地域にOPENな支援事業が出来るか考えさせられました。保育士である前に、その地域の一員である事を一番に考えて、よりよい生活にと前向きに頑張っていこうと思いました。
- ・参考すべき支援のあり方を知り、良かった。何気ない一言からへまを許す家庭づくりの支援、開かれた保育園センターになれるように努力していきたい。また、楽しく仕事をしていきたいと思いました。
- ・新澤先生の「いつもロマン」をもつという言葉がとても印象に残りました。
- ・和やかな雰囲気の中、濃密な分科会が開催された。質問にも答えて頂き、園に帰って仲間に伝えたいと思う

第5分科会 「熊本発！子育て支援の新たな枠組みを求めて」

- 子育て支援コーディネーター養成講座から-

コーディネーター

尚綱大学短期大学部教授

浜崎幸夫氏



話題提供者

渡辺理恵(山都町)

桑原 岳洋(福島保育園)

古閑 絵里香(宇土ひかり保育園)



第5分科会のワークショップの風景

(参加者アンケートの集計結果より)

たいへん良かった 3人 良かった 6人 普通 0人 あまり良くなかった 0人
良くなかった 0人

(参加者からの感想)

- ・養成講座を体験でき、参加者それぞれが自由に発言でき、いろいろなことを考えることができた。
- ・少し、自分の意図とずれてしまったところもあったが、久しぶりのワークショップと、同じグループの人達の意見や悩みを聞く事ができ、気持ちや悩みを共有したり確認したりすることができ良かった。

19:30 講師を囲んで 全国からの参加者とともに語り合おう



(講師を囲んで参加者アンケートの集計結果より)

たいへん満足 7人 満足 8人 普通 5人 少し不満 0人 大いに不満 0人
参加しなかった 70人

第3日 11月30日(金)



わらべうた

「

」

9:00 分科会報告



10:00 記念講演



「地域子育て支援拠点の創造を目指して」

白梅学園大学学長

汐見稔幸氏

(参加者アンケートの集計結果より)

たいへん良かった 77人 良かった 17人 普通 2人 あまり良くなかった 0人
良くなかった 0人

(参加者からの感想)

- ・とても分かりやすく、ストレートに支援が感じ取れたように思います。「支援」という言葉にとらわれず社会の一員として、人間らしく生きていく、困っている人に声を掛け、共感し、又関わったことで学びとなる。人と人とのつながりを大切にしていこうと思います。
- ・支援者として自分に足りないものがたくさん見えてきて「どうしよう」と部分が大きくなった。人間関係の中で最も重要な信頼関係をつくる事支援のそのニーズを見つけ出す力を養わなければと強く感じた。
- ・いつお話を伺っても新鮮で、実態に促しており、参考になるヒントがたくさんあった。
- ・期待していました。とても良かったです。先生の心暖まる人との関わりの大切さを見直しながら、支援とは？を考えることが出来ました。
- ・汐見先生ありがとうございました。とてもわかりやすい講演で沢山学ばせて頂きました。明日からの私、きっと変わります。一步を踏み出します。

- ・分かりやすかったです。“支援する事は実は自分が支援されていること”というのが印象的でした。自分自身を常に見つめなおしてこの仕事に向かいたいと思います。
- ・とても、分かりやすく理解できました。人としての在り方、人間性の大切さを学ぶことを、そして子育て支援の根本にあらためて気付かされました。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすい話し方、内容で聞きやすかった。本当の「支援」が何かを知り、自分の立場、これまでの姿勢を振り返り、反省する機会がもてたこと本当にうれしかったです。明日からの支援センターの取り組みに生かし、少し変わった自分になれるよう心掛けたいです。ありがとうございました。
- ・これまで様々な研修に参加しましたが、子育て支援についてモヤモヤしていたものが、この講演のお話ではっきり見えてきた気がします。もう1度自分を振り返り初心にかえて考えてみたいと思います。

12:00 閉会



セミナー最終日にもかかわらず人数が減っていません。
この熱心な参加の皆様の表情



会長のお礼の言葉



熊本子育てネット運営委員
橘孝昭による
「くまもと宣言2007」



わらべうた
「お茶を飲みにきてください」
みんなでさようなら



会長は最後のお見送り



思い出とお土産を手に家路に就く参加者の皆さん

無事にお帰りください。
そして来年も会いましょう。

(参加者アンケートの集計結果より)

Q:全国セミナーに参加して全体的な感想はいかがですか？

たいへん満足 46人 満足 43人 普通 2人 少し不満 0人 大いに不満 0人

Q:今回のセミナーでテーマ「子育て支援10年目の検証そして明日への展望」を十分に議論することができたと思いますか？

おおいにできた 28人 できた 50人 あまりできなかった 11人 できなかった 0人

- ・子育ての現実、少子化が将来に与える影響、将来の展望が学べた。そして、第1回目のセミナーが熊本で開催され有意義だった事に誇りと感謝！！
- ・現状を知り、子育て支援のあり方を学び、これから自分たちがしていかなければならない方向がうっすらではあるが見えてきたような気がします。
- ・私共の支援センターは9年目を迎え、少し早目の10年目の検証を考えていましたので、大いに参考になりました。そして、これからの10年、いえ5年の目標(展望)作りにとても参考になりました。

Q:今回のセミナーであなたが子育て支援をする上で参考になることはありましたか？

大いにあった 81人 少しあった 12人 なかった 0人

- ・私は保育士1年目から支援センターに所属、右も左もわからずお母さんから学ばせて頂く事がたくさんありました。私がお母さんたちにお返しできる事は、一番に笑顔と話をふむふむと聞いて共感して、参考になるなぁ~とお母さんを励ますことです。子育てをしたことがない、経験がない私ですが、人として私にできる事を見直す良い時間になりました。ありがとうございました。

- ・子育て親育ちは大切なんですね。そのためにどうしたらいいのか、結局は相手の思いを知る事、感じ取る事につけるのかなと思います。保育士としてのプロ意識を持ちつつも、それを相手に押し付けてはいけません！！と改めて感じました。具体的には言えませんが本当に自分にとって良い研修でした！！
- ・今回の保育指針の改訂、それと子育て支援、私たちがこれからしなければならない事が少し見えてきた。
- ・子育て支援は、ただ国の要綱に書いてある通りのことだけでなく、非常に多様なやり方があるのだと分かり、目からウロコが落ちた思いでした。

Q:今後、全国のセミナーでどのようなことをしたらいいと思いますか？

- ・実践で困った点、対処法など詳しく話し合う場が欲しかった。
- ・センター同士の交流、県域ネットワーク同士の交流ができる環境の構築についての検討。
- ・全国の取り組み、議論する場があったらいいと思う。
- ・センターの現地見学、視察、参加など。
- ・続けて行ってほしいと思います。
- ・とてもすばらしいセミナーでした。全国の取り組みの事例発表など参考になるので、今回のようにやってほしい。

Q:参加して思ったこと・感じたことを自由に書いてください。

- ・熊本県のお世話して下さった方たちの暖かさ、優しさを感じました。3日間お世話になりました。大会の内容だけでなく、細かな心遣いに感動しました。ありがとうございました。
- ・スタッフの方々本当にお世話になりました。ありがとうございました。熊本の方々は温かくて優しくて大好きな場所になりました。
- ・熊本で行われている連絡協議会を他県でも取り組んでいかれる事を望みますし、今後もこのようなセミナーで同士として集えあえたらと思います。